

# 皮膚科



医長  
十一 英子

専門医資格等 日本皮膚科学会皮膚科専門医  
京都大学医学博士  
京都大学医学部臨床教授  
京都皮膚科医会理事

専門分野 皮膚科一般  
皮膚免疫

得意疾患 乾癬  
糖尿病足病変

## □ スタッフ

平成26年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	岡本奈都子	日本皮膚科学会皮膚科専門医	皮膚科一般	
医師	渋谷真美		皮膚科一般	
レジデント	徳永 茉以		皮膚科一般	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本皮膚科学会専門医研修施設 生物学的製剤使用承認施設
-------	--------------------------------

1. 乾癬に対する生物学的製剤による治療を行っています。
2. 糖尿病足病変、基礎疾患を持つ蜂窩織炎、帯状疱疹などの感染症や難治性潰瘍など、総合病院の特色を生かして他科と密に連携して治療しています。
3. 地域の他病院から紹介された診断困難な症例、難治例、重症例なども多く受け入れています。

## □ 主な対象疾患

アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、うつ滞性皮膚炎、蕁麻疹、乾癬、掌蹠膿疱症、薬疹、水疱症、細菌感染症（ざ瘡、蜂窩織炎、丹毒、伝染性膿痂疹、など）、ウイルス感染症（帯状疱疹、単純疱疹、カポジ水痘様発疹症、尋常性疣贅など）、真菌感染症（足白癬、股部白癬、爪白癬、カンジダ症など）、皮膚潰瘍、皮膚腫瘍など

## □ 診療（業務）内容

糖尿病に合併する皮膚疾患：糖尿病センターとの連携のもと、糖尿病と関連した足病変、皮膚病変の診療を行っています。

乾癬：中等症～重症では、免疫抑制剤や生物製剤の治療を受ける患者さんが増えており、スクリーニング検査をし適応を決め投与しています。

帯状疱疹（ヘルペス）：重症度に応じて、抗ウイルス剤の内服、入院で点滴治療を行っています。

爪白癬：難治な爪の水虫には抗真菌剤の内服治療を行っています。

接触皮膚炎：かぶれの原因検索に、パッチテストを行っています。

薬疹：重症薬疹は入院で治療しています。

水疱症：天疱瘡の中等症以上では血漿交換療法や大量γグロブリン療法を行っています。

診断・治療のために積極的に皮膚生検を行っています。

診療実績(平成26年度)

入院患者数

	1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
2014年度	3.8	60	22.7

外来患者数

	1日平均患者数
2014年度	73.8

主な手術・検査の件数など

	皮膚生検	皮膚切開術	皮膚皮下腫瘍摘出術
2014年度	246件	127件	79件

学術活動報告(学会・研究発表など)

演題・演者・学会名
陰茎のみのPGの1例 徳永茉莉、渋谷真美、岡本奈都子、十一英子 第113回 日本皮膚科学会総会 2014年5月31日 京都
陰部潰瘍と口唇・口腔内潰瘍を認めたサイトメガロウイルス感染症の1例 徳永茉莉、渋谷真美、岡本奈都子、十一英子、山本鉄郎 第435回 日本皮膚科学会京滋地方会 2014年6月28日 京都
結節性紅斑を契機に肉芽腫性乳腺炎の診断に至った妊婦の1例 岡本奈都子、徳永茉莉、渋谷真美、十一英子、吉川伊津美、坂田晋吾 第438回 日本皮膚科学会京滋地方会 2014年12月20日 京都

投稿論文など

著者・タイトル・著書・雑誌名
嘉山 智子、野々村 優美、岡本 奈都子、十一 英子 蜂窩織炎との鑑別を要した壞疽性膿皮症の1例 皮膚科の臨床. 56(4):558-561, 2014
十一 英子 糖尿病潰瘍 フットケアのポイント まるわかり創傷治療のキホン 254-258 宮地良樹編 南山堂 2014 9月
楠葉 展大、辻花 光次郎、浦田 あすか、鬼頭 昭彦、十一 英子 I型糖尿病を伴う慢性皮膚粘膜カンジダ症に口唇の有棘細胞癌を生じた1例. 臨床皮膚科 68(11):889-893, 2014
Okamoto N, Aoto T, Uhara H, Yamazaki S, Akutsu H, Umezawa A, Nakauchi H, Miyachi Y, Saida T, Nishimura EK. A melanocyte-melanoma precursor niche in sweat glands of volar skin. Pigment Cell Melanoma Res. 2014 Nov;27(6):1039-50